



ZENFUREN

2015年10月2・3日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

校種別分科会

特別支援部会

真の「理解」、「共生」とは ～附属特別支援の特色ある PTA 活動を考える～



座長は、全附P連特別支援委員長渡辺優子氏、全附P連理事戸栗倫子氏、助言者は全附連元会長東京学芸大学附属特別支援学校若竹会岡部太郎氏で行われ、助言者からは特色ある活動について東京学芸大学の取組を中心に紹介がありました。

協議内容については、6グループに別れ（司会、記録、発表者を指定）各グループで自己紹介を兼ねてそれぞれの学校の特色、PTAの取組について協議しました。

各グループからの報告の概要を紹介しますと、カンガルーシップの補助金を使って全校児童生徒、保護者、教員、学生ボランティアで行っている2泊3日のクリーンハイキングの実施。本年度は65名の参加者があり、学生ボランティアの経費をカンガルーシップで負担。学生ボランティアがいるため、保護者が一歩引いて子どもが見える良さがあるとのこと。その他カンガルーシップは、学校間交流、附属まつりや土曜サークル活動の補助に活用していると等の紹介があった。

就労に向けた取組では、保護者も就労先の見学に行っている学校

もありました。

就労に向けて協議したグループの発表では、

- ・小さい頃から出口を目指して、折々の課題をこなしながら進むことが大事。
- ・一人ひとりの特性を見て親があきらめないことが大事。
- ・夢に向けての努力。今することを、今しなければならぬ課題に取り組みさせる。
- ・自分で考えてできる力をつける。意識させる。
- ・一人ひとりの子どもの人生の質を高める取組を小さい時から行う。

等、活発な協議が行われ、予定時間をオーバーするほど意義ある分科会となりました。



高知大附属特別支援
PTA 会長 長谷川豊浩 取材